



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月2日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日

配当支払開始予定日

平成30年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	30,483	6.0	2,069	13.5	1,914	24.5	2,280	7.2
30年3月期第2四半期	32,412	0.3	2,393	24.0	2,534	17.8	2,128	6.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 110百万円 ( 95.7%) 30年3月期第2四半期 2,561百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	45.40	
30年3月期第2四半期	40.70	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	113,367	64,328	56.6	1,280.64
30年3月期	115,400	65,696	56.8	1,300.88

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 64,169百万円 30年3月期 65,532百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		17.00		17.00	34.00
31年3月期		17.00			
31年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	2.4	4,300	11.0	4,000	21.4	3,600	13.4	71.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	53,119,190 株	30年3月期	53,119,190 株
31年3月期2Q	3,012,314 株	30年3月期	2,743,545 株
31年3月期2Q	50,236,512 株	30年3月期2Q	52,286,858 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 主要製商品売上高 連結	12
(3) 新薬パイプラインの状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題や中国を始めとする海外経済の不確実性、相次ぐ自然災害の影響など、依然として先行き不透明感が払拭できない状況が続いてはいるものの、企業収益や雇用環境は着実に改善しており、全体としては引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、本年4月に薬価制度の抜本改革による想定外の薬価引き下げを受けたことや、後発医薬品の使用促進など医療費抑制策が強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、304億83百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。また、利益につきましては、営業利益は20億69百万円（前年同四半期比13.5%減）、経常利益はスイスフラン高による為替差損の発生により19億14百万円（前年同四半期比24.5%減）となりました。一方、特別利益を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億80百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール<sup>®</sup>」は、主に国内において、本年4月の薬価改定や後発品、競合品の影響を受け、苦戦いたしました。一方、炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort<sup>®</sup>」（国内販売名：「ゼンタコート<sup>®</sup>」）につきましては、日本国内、カナダ、北欧を中心に売上を拡大いたしました。なお、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド<sup>®</sup>」につきましては、引き続き内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起しに努めております。

また、平成29年11月に『インフリキシマブB S点滴静注用100mg「日医工」』の共同プロモーションを開始し、消化器領域における製品ラインアップの充実を図っております。

これらの結果、当事業の売上高は、161億96百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

## ②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ<sup>®</sup>群」につきましては、天候不順等の影響を受けたものの、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上に努めた結果、引き続き売上を拡大いたしました。なお、平成30年4月にシリーズ最上位品として「ヘパリーゼ<sup>®</sup>Wプレミアム極」を発売し、製品ラインアップを強化いたしました。また、「ウィズワン<sup>®</sup>群」につきましても、引き続き堅調に推移いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、市場競争の激化により苦戦いたしました。医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持しております。

これらの結果、当事業の売上高は、142億9百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

## ③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は77百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,133億67百万円となり、前連結会計年度末対比20億33百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が373億63百万円で、前連結会計年度末対比11億42百万円の減少、固定資産が760億4百万円で、前連結会計年度末対比8億91百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少14億16百万円、受取手形及び売掛金の減少4億94百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加5億40百万円であります。また固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の減少19億10百万円、投資その他の資産の増加11億29百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は490億39百万円となり、前連結会計年度末対比6億65百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が363億37百万円で、前連結会計年度末対比1億77百万円の増加、固定負債が127億1百万円で、前連結会計年度末対比8億42百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、買掛金の減少3億59百万円、短期借入金の増加20億21百万円、未払法人税等の増加2億84百万円、賞与引当

金の減少2億72百万円、未払金の減少等流動負債のその他の減少14億99百万円であります。また固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少11億21百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は643億28百万円となり、前連結会計年度末対比13億68百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上22億80百万円、前期末配当の実施8億56百万円、自己株式の増加6億17百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億49百万円、為替換算調整勘定の減少2億2百万円、退職給付に係る調整累計額の減少3億17百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の連結自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.2%低下し、56.6%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、期首残高対比14億16百万円減少し、86億18百万円となりました。これは、主に営業活動によるキャッシュ・フローが18億60百万円のプラスであったものの、投資活動によるキャッシュ・フローが17億61百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが12億57百万円のマイナスであったためであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は18億60百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比15億55百万円減）。これは、税金等調整前当期純利益の計上34億95百万円、減価償却費の計上15億23百万円、のれん償却額の計上3億51百万円、たな卸資産の増加6億74百万円、仕入債務の減少3億31百万円、その他の流動負債の減少12億58百万円、退職給付に係る資産の増加6億50百万円、法人税等の支払い6億72百万円等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は17億61百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比26億40百万円減）。これは、有形固定資産の取得による支出6億97百万円、無形固定資産の取得による支出2億68百万円、投資有価証券の取得による支出6億99百万円等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は12億57百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比17億43百万円増）。これは、短期借入金の増加18億64百万円、長期借入金の返済による支出16億44百万円、自己株式の取得による支出6億18百万円、配当金の支払い8億53百万円等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降につきましては、Entocort®やヘパリーゼ®群などの主力製品の売上高は引き続き堅調に推移する見込みではあるものの、主に国内の医療用医薬品事業において、後発品や競合品の影響が大きく、通期の連結売上高は当初予想を下回る見通しです。また、国内外で実施している治験の進捗により研究開発費が高水準で推移することや広告宣伝費等の増加、さらには、スイスフラン高による為替の影響などを考慮し、平成30年5月11日に公表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

### 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	68,000	5,200	5,200	4,300	85.71
今回修正予想 (B)	63,000	4,300	4,000	3,600	71.75
増減額 (B-A)	△5,000	△900	△1,200	△700	—
増減率 (%)	△7.4	△17.3	△23.1	△16.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	64,568	4,830	5,089	4,157	80.72

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,166,898	8,750,698
受取手形及び売掛金	15,613,572	15,119,022
有価証券	7,030	—
商品及び製品	5,383,551	6,038,029
仕掛品	812,582	832,397
原材料及び貯蔵品	3,179,542	3,045,771
その他	3,365,016	3,588,059
貸倒引当金	△22,650	△10,780
流動資産合計	38,505,543	37,363,198
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,404,656	7,339,168
土地	11,701,591	11,698,657
その他（純額）	4,234,515	4,193,674
有形固定資産合計	23,340,763	23,231,500
無形固定資産		
のれん	8,717,014	8,227,917
販売権	16,723,510	15,386,232
その他	6,897,108	6,812,563
無形固定資産合計	32,337,633	30,426,713
投資その他の資産		
投資有価証券	6,935,818	8,005,465
退職給付に係る資産	13,571,512	13,691,023
その他	750,211	664,892
貸倒引当金	△40,729	△15,452
投資その他の資産合計	21,216,813	22,345,930
固定資産合計	76,895,211	76,004,143
資産合計	115,400,755	113,367,341
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,072,673	1,713,481
短期借入金	24,926,395	26,947,460
未払法人税等	693,948	978,576
賞与引当金	1,208,462	935,848
返品調整引当金	38,995	44,096
売上割戻引当金	97,190	95,361
その他	7,121,970	5,622,487
流動負債合計	36,159,637	36,337,313
固定負債		
長期借入金	8,676,175	7,554,690
退職給付に係る負債	750,754	862,335
資産除去債務	54,760	54,893
その他	4,063,268	4,230,076
固定負債合計	13,544,958	12,701,995
負債合計	49,704,595	49,039,309

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	42,096,195	43,520,331
自己株式	△5,600,862	△6,217,948
株主資本合計	54,773,853	55,580,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	752,754	1,102,058
為替換算調整勘定	3,260,540	1,058,146
退職給付に係る調整累計額	6,745,288	6,427,961
その他の包括利益累計額合計	10,758,583	8,588,166
非支配株主持分	163,723	158,962
純資産合計	65,696,159	64,328,032
負債純資産合計	115,400,755	113,367,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	32,412,637	30,483,631
売上原価	9,462,208	8,827,579
売上総利益	22,950,429	21,656,051
返品調整引当金戻入額	48,013	38,995
返品調整引当金繰入額	58,209	44,096
差引売上総利益	22,940,233	21,650,950
販売費及び一般管理費	20,546,664	19,581,479
営業利益	2,393,569	2,069,470
営業外収益		
受取利息	3,431	5,883
受取配当金	133,770	121,691
為替差益	54,968	—
その他	60,986	70,743
営業外収益合計	253,156	198,317
営業外費用		
支払利息	93,319	96,952
為替差損	—	246,086
その他	18,725	9,855
営業外費用合計	112,044	352,894
経常利益	2,534,681	1,914,894
特別利益		
固定資産売却益	—	247
投資有価証券売却益	605,773	2,540
受取和解金	—	1,579,034
特別利益合計	605,773	1,581,823
特別損失		
固定資産除却損	563	1,230
特別損失合計	563	1,230
税金等調整前四半期純利益	3,139,890	3,495,486
法人税等	1,000,638	1,209,373
四半期純利益	2,139,252	2,286,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,933	5,591
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,128,318	2,280,522



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	2,139,252	2,286,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194,238	349,304
為替換算調整勘定	264,333	△2,207,279
退職給付に係る調整額	△36,230	△317,326
その他の包括利益合計	422,341	△2,175,301
四半期包括利益	2,561,593	110,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,558,869	110,105
非支配株主に係る四半期包括利益	2,724	706

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,139,890	3,495,486
減価償却費	1,564,302	1,523,545
のれん償却額	345,512	351,240
賞与引当金の増減額(△は減少)	△227,037	△258,444
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	195,836	180,205
受取利息及び受取配当金	△137,202	△127,574
支払利息	93,319	96,952
投資有価証券売却損益(△は益)	△605,773	△2,540
受取和解金	—	△1,579,034
売上債権の増減額(△は増加)	△122,792	272,289
たな卸資産の増減額(△は増加)	△526,231	△674,441
仕入債務の増減額(△は減少)	△306,334	△331,860
その他の流動資産の増減額(△は増加)	578,729	△71,105
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△544,610	△1,258,548
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	76,631	△650,746
その他	29,324	△40,806
小計	3,553,567	924,614
利息及び配当金の受取額	139,342	126,063
利息の支払額	△82,721	△96,389
和解金の受取額	—	1,579,034
法人税等の支払額	△193,711	△672,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,416,476	1,860,953
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,415,192	△697,300
無形固定資産の取得による支出	△125,929	△268,188
投資有価証券の取得による支出	△473,520	△699,425
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,035,847	61,757
その他	△142,150	△158,754
投資活動によるキャッシュ・フロー	879,054	△1,761,911
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,523,340	1,864,470
長期借入れによる収入	9,868,320	—
長期借入金の返済による支出	△1,159,900	△1,644,100
自己株式の取得による支出	△4,331,954	△618,935
配当金の支払額	△847,562	△853,717
非支配株主への配当金の支払額	△7,255	△5,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,001,692	△1,257,749
現金及び現金同等物に係る換算差額	229,645	△257,494
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,523,484	△1,416,200
現金及び現金同等物の期首残高	9,118,652	10,034,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,642,136	8,618,579

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,896,494	14,439,543	32,336,038	76,599	32,412,637	—	32,412,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52	52	260,256	260,309	△260,309	—
計	17,896,494	14,439,596	32,336,091	336,855	32,672,947	△260,309	32,412,637
セグメント利益	1,610,886	3,276,823	4,887,710	124,253	5,011,963	△2,618,394	2,393,569

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,618,394千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,196,973	14,209,159	30,406,132	77,498	30,483,631	—	30,483,631
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53	53	331,116	331,169	△331,169	—
計	16,196,973	14,209,212	30,406,186	408,614	30,814,801	△331,169	30,483,631
セグメント利益	1,729,022	2,575,000	4,304,022	126,545	4,430,567	△2,361,097	2,069,470

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,361,097千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	16,196,973	△9.5
コンシューマーヘルスケア事業	14,209,159	△1.6
報告セグメント計	30,406,132	△6.0
その他	77,498	1.2
合 計	30,483,631	△6.0

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

## (2) 主要製商品売上高 連結

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	増減(△)率(%)
1. 医療用医薬品事業	17,896,494	16,196,973	△9.5
アサコール®	8,965,426	7,534,124	△16.0
Entocort®	2,331,280	2,786,316	19.5
アコファイド®	1,661,481	1,556,474	△6.3
プロマック®	1,103,298	859,060	△22.1
アシノン®	977,138	723,597	△25.9
その他	2,857,868	2,737,399	△4.2
2. コンシューマーヘルスケア事業	14,439,543	14,209,159	△1.6
ヘパリーゼ®群	6,017,365	6,096,085	1.3
コンドロイチン群	3,298,821	3,063,932	△7.1
ウィズワン®群	801,739	804,595	0.4
その他	4,321,616	4,244,546	△1.8
3. その他の事業	76,599	77,498	1.2
合 計	32,412,637	30,483,631	△6.0

## (3) 新薬パイプラインの状況

## I. 国内開発状況

(平成30年11月2日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中	Z-213/ カルボキシマルトース第二鉄	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ (アジア共同治験)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品
臨床準備中	ZG-801/Patiromer	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合 非吸収性ポリマー	導入品

## II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
承認申請中 (欧州)	TP05/メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品